



いほろ議会ムダより

令和元年5月 No. 172

発行/土曜町議会

HPアドレス

<http://www.shihoro.jp/assembly/>



当選証書付与式（4月23日）

Contents

- 3月定例会
条例改正、補正予算 ほか……………2ページ
- 一般質問
小学校閉校後の施設活用について ほか1件……………4ページ
- 予算審査質疑 ……………5ページ
- 新しい議会構成 ……………10ページ
- かけ橋「新任地の着任にあたって」
帯広警察署士幌駐在所 所長 高野 英樹さん……………12ページ

新元号の年に新たなスタート!

任期：令和元年5月1日から令和5年4月30日まで

前年度対比微増の予算、総額119億円

議案23件を原案どおり可決



多くの傍聴者が訪れた定例会本会議場（3月12日）

第1回定例会が、3月8日から18日までの会期で開会。

初日は行政報告、教育行政報告、町政及び教育行政執行方針ほか監察報告（例月出納検査報告）を行い、平成30年度補正予算5件、一般議案1件を審議し、12日は、2人の議員が一般質問に登壇。条例案9件を審議後、平成31年度予算審査特別委員会（細井文次委員長）を設置し、14日まで予算審査を実施し、15日には、本会議を再開し、一般会計他6特別会計及び1事業会計の歳入歳出予算及び追加議案2件の審査を行い、全ての議件を原案どおり可決し閉会した。

平成31年度 各会計予算総額

単位：額は万円、伸率は%

会計区分	予算額	前年度対比		
		増減額	伸率	
一般会計	71億1,700	▲2,700	▲0.4	
特別会計	国民健康保険	10億8,884	5,343	5.2
	後期高齢者医療	10,061	303	3.1
	介護保険	7億2,841	1,797	2.5
	介護サービス	5億5,072	2,162	4.1
	簡易水道	2億5,574	▲1億3,311	▲34.2
公共下水道	9億6,897	3億4,293	54.8	
病院事業会計	11億8,351	6,719	0.5	
合計	119億9,380	3億4,606	0.3	

条例の改正

【職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案】

国家公務員の給与に関する法律の改正（人事院勧告）並びに、労働基本法の改正による人事院規則の一部改正を踏まえて条例を改正

【土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案】

フッ素塗布料及びサホライド塗布料に係る手数料の徴収を廃止するため、条例を改正

【土幌町社会福祉委員会条例の一部を改正する条例案】

世帯数の増加により、委員の改選期にあわせ担当地区を見直し、委員を1名増員

【土幌町農地利用集積円滑化事業基金条例の一部を改正する条例案】

事業期間満了に伴い、事業の継続実施のため、条例を改正

【土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案】

佐倉小学校を廃止するため、条例を改正

【土幌町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案】

材料費の価格高騰に伴い改定を行う。現行額から1人1日当たり児童で5円、生徒で6円を引き上げるが、保護者の負担軽減を図るため、児童で55円、生徒で56円を公費負担するため、条例を改正

【土幌町パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例案】

土幌町総合グラウンドの名称を土幌町総合運動公園に改めるため、条例を改正

【災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案】

災害弔慰金の支給等に関する法律及び施行令の改正に伴い、条例を改正

【土幌町水道事業給水管理條例の一部を改正する条例案】

学校教育法の一部を改正する法律及び技術士法施行規則の一部を改正する省令により、布設工事監督者が有すべき資格を改正

指定管理者の指定

土幌町農畜産物加工研修施設を(株)Cherers(チアーズ)が指定管理者として平成36年3月31日まで行う。

平成31年度予算の 主要施策概要

一般会計ほか6特別・1事業会計の総額は、119億9380万円で前年度比で微増となった。

日本経済は、円安・株高と好調な企業実績が続く中で、プラス成長となるなど拡大基調にあるが、米中貿易摩擦や英国EU離脱など不安定な国際関係とあわせて、実質賃金や個人消費の伸び悩みなど、内需主導の景気回復が不十分な状況にあり、経済動向が依然として不透明な状況が続いている。

町政6期目の初年であり第6期町(く)総合計画、まち・



町政執行方針を述べる小林町長

ひと・しごと創生総合戦略を政策展開の基本とし、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と町民誰もが安心・安全、生きがいを実感出来る「豊かな町」を目指し、全力を傾注して町政を推進して参る決意です。

平成31年度の 力点事業

- ▼町づくり協働推進事業・パートナーシップ推進事業 1269万円
- ▼移住支援事業(東京都23区内の居住者等が町内事業所に就職し、転入した場合) 100万円
- ▼防災行政無線比較検討事業(災害時の情報伝達手段の比較検討) 250万円
- ▼避難所用備蓄品整備事業 230万円
- ▼旧小学校施設等利活用推進事業(閉校施設の有効利用事業者へ補助) 500万円
- ▼乳幼児等医療費助成事業(中学生までの医療費を全額助成) 2140万円
- ▼子育て支援祝い金事業(出生時・第3子以降小学校入学時の祝い金) 500万円
- ▼予防接種事業(麻風疹予防接種対象者を拡大) 1771万円
- ▼商工業にぎわい創出推進事業 200万円
- ▼高齢者住宅整備事業(若葉団地建替2棟8戸他) 1億6217万円
- ▼定住促進対策事業(定住雇用促進用賃貸住宅建設助成ほか) 1420万円
- ▼土地改良事業基盤整備事業(基盤整備3地区、調査1地区、農道整備1路線) 1億6880万円
- ▼農道整備事業(土幌南地区) 6000万円
- ▼農畜産物加工研修施設外構整備事業 459万円
- ▼多面的機能支払事業保全隊補助(町内全9地区) 1億4411万円
- ▼町道整備事業(継続2路線、新規2路線、橋梁長寿命化事業、舗装長寿命化) 3億7000万円
- ▼学校給食費子育て支援(保護者負担の軽減) 689万円

- ▼土幌小学校施設改修事業 農業マーケティング実践学(エレベーター・障がい者トイレ設置) 5106万円
- ▼総合グランドパークゴルフ場整備事業 4747万円
- ▼土幌高校農業先進技術活用

第1回定例会で審議・可決等された案件

報告	結果	賛・反
行政報告	結果	賛・反
▼町政執行方針		
▼教育行政執行方針		
▼例月出納検査報告	了承	
▼条例の改正	結果	賛・反
▼職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町手数料徴収条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町社会福祉委員会条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町水道事業給水管理条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町農地利用集積円滑化事業基金条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町パークゴルフ場の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
一般議案	結果	賛・反
▼指定管理者の指定について	可決	全員賛成
平成31年度各会計予算	結果	賛・反
一般会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計	可決	全員賛成
平成30年度各会計補正予算	結果	賛・反
一般会計(第8号)	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計(第4号)	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計(第4号)	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計(第2号)	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計(第2号)	可決	全員賛成

一般質問に2名が登壇

町民の声を町政に・町政のこころが聞きたい

森本 真隆 議員 〆 小学校閉校後の施設活用について

清水 秀雄 議員 〆 『家族農業』を守ることにについて

3月定例会では、2人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをいただきました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(6月上旬予定)します。

小学校施設の閉校後の利活用は？

旧小学校施設等利活用推進補助制度を創設

【森本真隆 議員】



質問

本年度3校、来年度1校が閉校を迎えるが、その後の利活用の方針及び所在地域への要望への対応について伺う。

町長答弁

これら施設等の活用については地域の意向を踏まえつつ、地域振興に向け有効に活用すべく方策を検討している。新年度において旧小学校施設等利活用推進補助制度を創設し、原則費用の50%、500万円以内で一般企業及び地域・個人が施設を利活用するに当たり、改修、設備投資や当初の事業運営経費等を支援することにより利活用の促進を図ることとした。また使い方としては地域で公的に町の公民館活動で使うとか、地域の農業を含めた産業振興で使う場合も想定され、その場合は町が施設を運営、または町が公民館に補助することも考えられ、個人あるいは個人的な企業等がこの補助制度を使う場合とは分けて考えなければならぬ。新年度できるだけ早く具体的な取り扱いを決定することもに公募を開始したい。

質問

企業からの要望と地域からの要望が同時に出された場合、どのように町としては判断するのか。

町長答弁

できる限り町内の方に使っていただくよう公募のあった中から内容によって決定する。

質問

地域の皆さんにしっかりと概要を理解していただくことが一番大切なことなので、子供たちが集っていた地域のコミュニティ拠点を失う心情をおもんばかっていたりしながら丁寧な対応をお願いしたい。

町長答弁

新年度早々の町づくり懇談会等で十分要望を把握していきたい。



平成31年3月31日で閉校した下居辺小学校

家族農業をどう守る！

意向を受け止めて、しっかりと取り組む

質問

21世紀に入り、大規模化・効率化一辺倒の農政が世界で貧困や飢餓を拡大してきた反省から国連は、農政の方向転換を訴え、2019年から2028年までの10年間で「家族農業の10年」と決定し、家族農業や小規模農業への支援を呼び掛けている。

政府の国内政策では、家族農業・小規模農業を守るものとはなっていないが、土幌農業の9割以上が家族農業・小規模農業なので、町としてもそれに対する支援策が必要と考えるが町長の所見を伺う。



【清水秀雄 議員】

町長答弁

国連が2011年の総会で世界の飢餓撲滅と天然資源の保全は、家族農業が大きな役割を果たしており、2014年を「国際家族農業年」と定め、その後、2017年12月の国連総会で日本を含む121カ国の賛成のもと、「小農と農村で働く人びとの権利宣言」が採択され、2019年から10年間で「家族農業の10年」と定めることを決定した。北海道として本町の農業者、関係者にとって意義ある決定と思う。

本町は377農業経営体のうち、家族経営体が361経営体で95・8%となっている。

農業・農村を取り巻く環境がより厳しくなる中で、本町の大多数を占める「家族農業」を基本に、担い手育成、生産の向上、消費者との連携、農地基盤整備等を農業振興対策

質問

本部が中心となって更なる農業・農村の発展を期したい。

政府の政策は、大型経営向けに小規模経営に対する対策はない。小規模農業経営者が求めている要望をどのように把握し、不安を解消するのか。

町長答弁

本町はこれまで農村工業の導入により、生産性と付加価値の向上に努めてきた。農業振興対策本部の中で生産者の意向を受け止めていく。

質問

農業経営者が安心して営農を続けるために所得補償、価格保障を政府に求めてほしい。

町長答弁

土幌は農業が基幹産業。関係機関と連携し、しっかりと取り組んでいきたい。



ビートの移植作業

平成31年度 一般会計ほか6会計・1事業会計

予算審査質疑

第1回定例会で付託された平成31年度各会計予算審査特別委員会（細井文次委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

一般会計

総務費

胆振東部地震での通電対応は

大西米明委員

昨年9月のブラックアウトで電気がついている所と消えている所があったが、公共施設や福祉施設などは、早く電気がつくことと理解していたが、特別養護老人ホームがつかなかったのは、どうしてか。北電は、町と協議した計画停電を基にして電気をつけたと説明していたが。

瀬口総務企画課長

平成24年6月に東日本大震災に関連して、北海道を通して計画停電に関する要望書を北電に出しており、医療機関とか福祉施設を除外するように要望しました。

小林町長

今後、特養の停電を回避するように北電へ強く要望する。

高齢者移動支援実証事業の内容は

和田鶴三委員

高齢者移動支援事業の200万円について説明を願いたい。

河田総務企画課担当主査

「ミニバス運行以外の地区にお住まいの方々を対象として、

75歳以上の方にタワシの利
用に関して助成をするもので、
自宅から土幌市街地までを対
象としている。申請状況にも
よるが年4回のうちの半額を
助成するというところで予算を
計上しているが、回数等につ
いても検討しながら、10月か
ら実証事業ということを進め
ていきたい。

業務用パソコンの更新は

森本真隆委員

パソコン更新は、オペレー
ションシステムのサポート終
了に伴う更新であろうと思わ
れるが現在、使用されている
パソコン本体の経過年数は、

矢野総務企画課担当主査

1台ごとの経過年数は、把
握していない。

瀬口総務企画課長

パソコン本体で89台。オペ
レーションシステムの更新で
14台を予算計上した。

森本真隆委員

年間30台程度の更新計画と
の事であるが、近年、役場業
務も複雑化し、事務量も増加

している。今後、更新台数の
増加を計っては。

柴田副町長

今回の更新については、W
indows7のサポート切
れに対応するもので単価の事
もあり、それに見合った更新
を考えている。

GWの10連休対応は

大西米明委員

今年のゴールデンウィーク
は、天皇の即位もあつて10連
休となるが、町民も不安にな
っている。ごみの収集、役場
の業務、病院、保育園、学童
保育所など課ごとに違うにし
ても方針を町民に示してほし
い。

瀬口総務企画課長

土曜日も含めば10連休とな
り、現在、話し合っている。
今の時点で3月末と4月中旬
の役場だよりで町民に周知す
ることを考えている。

現時点では、病院は5月2

日の午前中、認定こども園は
4月27日と4月30日の終日、
ごみの収集は土幌市街と中土

幌市街で4月30日と5月1日
で調整している。

大西米明委員

困っているのは、子どもを
持つ親で、保育園と学童保育
については配慮してほしい。

小林町長

10連休というかつて経験の
ない連休で地域住民や保護者
の考えを聞きながら検討する。

ふるさと寄附の 使用目的先を明示しては

河口和吉委員

ふるさと納税に対し、町長
のまちづくりへの思いとして、
具体的にあらがじめ使い道を
明示して、クラウドファンデ
ィング（インターネットを通
じて自分の活動や夢を発信す
ること、）で、想いに共感した人
や活動を応援したいと思つて
くれる人から資金を募るしく
み）のような形で、寄附を募
るのもいいと思うがどうか。

石垣地方創生担当課長

本町におきましても、該当
する対象事業がありましたら、
今後検討していきたい。

石垣地方創生担当課長

今後検討していきたい。

パートナーシップ助成の 減額要因は

河口和吉委員

パートナーシップ事業の助
成金が、前年度よりも50万円
の減額となっているが、町長
のまちづくりの思いを実現さ
せる部分の事業だと思つので、
積極的な推進を行つてはごう
か。

小林町長

協働のまちづくりでは、重
要な事業だと思つていますがの
で、PRをする中で要望があ
れば補正予算で対応する。

自主防災研修の あり方は

飯島勝委員

自主防災研修会は、どのよ
うな形で行われるのでしよ
うか。

瀬口総務企画課長

研修会では、自主防災組織
を設立するなかでの組織のリ
ーダー育成を目指し、行政と
各組織間でコミュニケーション
を取つて進めて行きたい。

防災行政無線 比較検討業務の内容は

河口和吉委員

防災行政無線比較検討委託
料250万円とあるが、どの
ようなことに対してかかるの
か。

瀬口総務企画課長

今いろいろ災害の対応に
防災行政無線を各自治体で導
入するよう指導が来ている。

今現在システムの方法とし

て4形態の導入方法があり、
業者に委託して土幌町として
はどの防災無線が一番良いか
を比較検討するために予算計
上した。

河口和吉委員

複数の購入の相手方からの
提案をこちらで比較検討すれ
ばこの費用は、必要ないので
は。

瀬口総務企画課長

まず地形等を考慮して電波
が条件に合つか。土幌町とし
ては、どのような形態（ボケ
ベル式の無線、移動系、デジ
タル系等）が良いのか。また、
目的が防災無線だけではなく
町の情報も周知できるように

ものにするかの検討するため
に調査してもらい、その調
査に基づいて実施設計を発注
するという段階である。

民生費

総合福祉センターの 配置は

大西米明委員

総合福祉センターに行くこ
前から言っているが暗い。配
置が悪い感じがする。みんな
が向かい合わせてパソコン打
つての仕事をしているので、
町民が来た際に対応が後ろ向
きになってしまう。何とか町
民が来た場合にはすぐに気づ
き、「いっしょにしゃいませ」と
言っただけができるような仕
方ができないだろうか。町民
課の受付カウンターのように
気持ち良く行きやすいような
配置を考えてみてはどうか。

小林町長

高齢者あるいは、障がい者
の方々も含めて来られる場所
ですが、町がいかに優しい対
応をするか求められる。配置

について、言われてみると町
民課は来たときに正面を向い
ている。保健福祉課の場合は、
入ったときに後ろを向いてい
る。例えば、窓口の人はカウ
ンター側に向くとか。それぞ
れ仕事の内容でいろいろと検
討しなければならぬが、そ
ういうことを含めて検討をさ
せていただく。

認知症高齢者の 徘徊対応策は

飯島勝委員

認知症高齢者の徘徊対応を
町として、どのような対策を講
ずるのか。

高木保健福祉課長

町内事業所、関係機関等で
徘徊高齢者SOSネットワー
クを組織し情報提供や搜索を
行っている。

農林業費

農畜産物加工研修施設 の委託業務内容は

加藤宏一委員

農畜産物加工研修施設の指
定管理委託料、1,350万
円の内訳を聞く。

西野産業振興課主幹

職員1名分の人件費、各種
研修会の報償費、そのほか通
信費や水道光熱費等を積み上
げ、利用者から徴収する施設
利用料などを控除し、算出し
た。

加藤宏一委員

指定管理者のチアーズの職
員は、1名ではないはず。

柴田副町長

会社の職員は2名だが、あ
との1名分は加工品を製造販
売した収益やほかの委託料な
どでまかなう。

加藤宏一委員

2年目で加工品が順調に販
売できると思えない。
町が会社を支える方向で検
討し、成果を出せる環境を整
えるべきでは。

小林町長

31年度の実績をみて検討す
る。また、会社の職員は2名
だが、会社運営に統括マネー
ジャーとして町職員が業務支
援に当たる。

大西米明委員

農畜産物加工研修施設での
利用料について、加工品の研
究開発で利用する一般の人が
徴収するというが、小学生
は無料で、指定管理者のチア
ーズからはどうなのか。

柴田副町長

指定管理者のチアーズは、
研修指導に当たるので、利用
料は発生しない。

小林町長

農畜産物加工研修施設に1
年間、技術支援として高校の
実習助手1名を交代で支援さ
せる。研修施設としての役割
を果たしたい。

川岸産業振興課担当主査

委託料の内容は、林地台帳
の地番図、森林調査簿、山林
所有者情報の入れ替え業務、
更にシステム障害の対応に対
する予算計上となっている。

エゾシカ対策の 考え方は

河口和吉委員

北海道は今期の狩猟の自粛
措置をとった。また、雪が少
なく、エゾシカの個体数の増
加が見込まれるので、対策と
して農地の所有者の理解を得
て、エリア単位で集中的に駆
除・捕獲をしてはどうか。

西野産業振興課主幹

提案内容を猟友会と相談さ
せていただき、検討を行う。

森林地理情報システム 保守業務の内容は

河口和吉委員

森林地理情報システム保守
委託料について説明願いたい。

教育費

総研のフィットネス事業の実績は

加藤宏一委員

フィットネス事業は非常に多くの方が利用されているとのことだが実態は。

小野寺教育課担当主査

今年度は、6,000名を超えるかと推計される。

加藤宏一委員

利用者によっては、場所が狭いと言われています。利用者のニーズを聞いて将来的にスペースを広げては。

堀江教育長

検討する。

秋間紘一委員

もう少し日数を増やしてほしい。

堀江教育長

利用者のご意見を伺い検討する。

土幌高校の入学者数は

大西米明委員

土幌高校の入学者数が昨年

よりも減少している。原因の分析は。

堀江教育長

定員80人に対して50名で6割は超えている。北海道の農業高校の平均は、5割から6割なので実はそれほど少ない。

大西米明委員

行政でも土幌高校の卒業後の進路を考えていかななくてはだめなのではないか。普通科がよいのは、大学に行きやすいということもあると思うので、推薦枠を増やしてもいい、またそれをPRすることが大事なのでは。

堀江教育長

本年度も大学に合格している生徒があり、来年度も目指している者もいる。今後、町長と絶えず連携をしながら、さらに魅力アップに向けて取り組んでいきたい。

歳入

市町村たばこ税の税率は

大西米明委員

今、たばこを吸っている人は、本当に肩身の狭い思いでたばこを吸っているが、何パーセントが町村に戻ってくるのか。

辻町民課長

1箱430円のたばこで、国及び地方（都道府県と市町村）分のたばこ税が245円となっており、消費税を併せると276円の税金が課せられ、販売価格の約64%が税金で、町税として105円が入る。

一般会計総括

予算編成の考え方と重点的な取組は

秋間紘一委員

予算編成に当たつての基本的な考え方と重点的な取組

みについて伺う。

小林町長

今回の予算は、6期目の町政の4年間の中で実施すべき事業について、頭出しをしていくことを意識して予算編成をした。

1点目は、地方創生と地域活性化の取組として、基幹産業の農業振興を行う。

2点目は、農業の担い手対策で、人材育成として農協と併せて200万円を農業対策本部に助成する。

3点目は、定住促進対策で、公営住宅の建て替えや民間住宅の建設助成を行う。

4点目は、町内3小学校の閉校施設を町の振興に資する施策を検討する。

5点目は、安心・安全な町づくり対策で地域包括ケアシステムを推進する。

6点目は、防災・減災対策で自主防災組織の組織化、防災備蓄品購入・防災行政無線整備を進めていく。

全体として行財政の点検、検証をしながら、より効果的、効率的なまちづくりを推進していくように努力する。議会

の皆様もぜひご尽力賜るようお願い申し上げます。

介護保険

有償ボランティアの助け合い事業は

加藤宏一委員

有償ボランティアの見込み人数・単価・事業概要は。

高木保健福祉課長

人数については、未確定であり、先般行った研修会において、16名の参加を得た。30分のサービスマンで200円となる。基本的には30分あるいは1時間で行えるサービスマンを行う。

作業としては、掃除、整理、ゴミ出し等である。社会福祉協議会を事務局として登録制度とし行う。

議会だよりをあなたのスマホにお届け



マチイロ 導入しました

アプリをインストールし、簡単な個人設定を行うと使用開始になります。
「お住まいの地域」で郵便番号などから「北海道士幌町」を登録すると、
発行日に「議会だより」が届きます。



全国町村議会議長会表彰

第1回定例会初日の本会議開催前に、2月6日に開催された
全国町村議会議長会定期総会において、自治功労者として決定
された議長及び議員に対して、表彰状の伝達が行われました。

・大西議員

(議員として27年以上)
平成3年5月1日〜平
成31年2月5日(現在)

・加納議長

(議長として7年以上)
平成23年5月1日〜平
成31年2月5日(現在)

・加納議長

(議員として15年以上)
平成15年5月1日〜平
成31年2月5日(現在)

・和田議員

(議員として15年以上)
平成15年5月1日〜平
成31年2月5日(現在)

新たな議会構成でスタート!!

5月9日、初議会に12人の議員が登庁 議長に秋間紘一議員、副議長に加藤宏一議員を選出

町議会議員選挙が任期満了により4月16日に告示され、立候補者が定数を超えたため、選挙により12名の議員が決まりました。新人議員5名を含む12名の議員の任期は、令和元年5月1日から令和5年4月30日までの4年間となります。

5月9日には、初議会となる第2回臨時議会が開かれ、正副議長が選出されたほか、議会運営委員会、2常任委員会などの議会構成が決定しました。

議長・副議長 就任のあいさつ



議長
秋間 紘一

この度の「平成」最後の統一地方選挙におきまして、土幌町議会の改選は8年ぶりの選挙となり、4月21日に現職7名、新人5名の計12名が当選となりました。「新元号」の令和元年5月9日に開催されました初議会におきまして、議会の構成がなされ、議員皆様のご推挙により、不肖ながら議長のご重責を担うことになり、身の引き締まる思いと、責務の重大さを痛感しております。

二元代表制を担う議会の議長として、力不足ではありますが、議員各位の協力をいただきながら、責務を全うしてまいります。

地方を取り巻く環境は依然として厳しく、社会情勢の変化や地方分権の進展等により、行政の果たす役割が益々重要となっております。本町におきましても、人口減少や少子高齢化、雇用や医療・介護問題など、多くの課題が山積しております。

私たち町議会は、議員個々のレベルアップを図り、住民福祉の向上、農業・商工業をはじめとする産業の振興、更には本町の活性化に努め、元気で安心して暮らせるまちづくりのため、全議員一丸となつて、これらの課題に取り組んでまいります。

今後とも、町民皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、議長就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長
加藤 宏一

この度、初議会におきまして、副議長という大任を拝し、身に余る光栄でございます。

また同時に、使命と責任の重さを痛感しております。議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

地方分権の流れが本格化する中、住民に最も身近な行政である市町村は、地域の個性や特性を生かした施策を自らの創意工夫により主体的に推進していくことが必要だと感じております。山積する課題の解決と本町の更なる発展に向け、誠心誠意取り組み所存であります。

また、町民の代表として議会の果たすべき役割を十分に認識し、その負託に応えるべく、より開かれた議会の実現を目指し、全議員が一丸となり一層の努力をさせていただきます。

町民の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

新元号が決まり、新たな議員構成で町づくり活動がスタート。

各委員会等の所管事項

◆議会運営委員会

議会の日程調整や議会の運営及びそれに関わる諸規則を調査研究するなど、議会の運営に関する一切の事項を協議します。

◆総務文教常任委員会

町税、財政や出納、町有財産、交通防災、学校教育、社会教育、選挙管理委員会、公平委員会、監査に関する事務などの案件を調査し、併せてそれらに必要な調査研究を行います。

◆産業厚生常任委員会

農林産業や商工業、土木及び建築、簡易水道並びに下水道、保健衛生、国民健康保険、失業対策、その他町民生活安定に関する事務などの案件を調査し、併せてそれらに必要な調査研究を行います。

◆議会広報特別委員会

町議会の活動実態を公正に町民に知らせて町民の自治行政の推進を図るため、定期的に町議会広報紙を発行しています。

◆監査委員

監査委員のうち、議会から選任される委員を町長から提案され、同意をさせていただきます。

◆一部事務組合議会議員

事務の処理や施設を合理的に運営するため、他の市町村と共同で行う一部事務組合の議会議員を選出しています。

議会構成

◆総務文教常任委員会



委員長
中村 貢



副委員長
伊藤 健蔵



委員
清水 秀雄



委員
河口 和吉



委員
矢坂 賢哉



委員
牧野 圭司

◆産業厚生常任委員会



委員長
森本 真隆



副委員長
大野 明



委員
大西 米明



委員
加藤 宏一



委員
曾我 弘美

◆議会運営委員会



委員長
清水 秀雄



副委員長
中村 貢



委員
伊藤 健蔵



委員
加藤 宏一



委員
森本 真隆

◆議会広報特別委員会



委員長
河口 和吉



副委員長
矢坂 賢哉



委員
清水 秀雄



委員
加藤 宏一



委員
曾我 弘美

◆十勝圏複合事務組合議会議員 秋間 紘一
◆北十勝2町環境衛生処理組合議会議員 中村 貢・曾我 弘美・森本 真隆・牧野 圭司
◆監査委員 河口 和吉
◆とちかち広域消防事務組合議会議員 秋間 紘一

新任地の着任にあたって



帯広警察署土幌駐在所

所長 高野英樹 さん

次に私の今後の抱負について述べさせていただきます。

第1に、地震・台風等の自然災害が発生した場合の町民の安全な避難のため、役場・消防等の関係機関と連携して、町民が全員無事であるように努めていきたいと思えます。

私の前任地は、平取町でしたが、昨年9月の胆振東部地震発生の際は、生まれて初めてと言っても過言でない強い揺れに遭い、その後の停電や断水、道路の崩落等ライフラインが断たれてしまう事態になりました。

そして役場・消防等の職員と共に、町民への避難措置等の対応をする中で、警察官としての責任の重大さを痛感いたしました。

土幌町においても今後大きな自然災害の危険性が十分にありますので、万が一に備えた対応をしっかりと取ってきたいと思っております。

第2に、管内から交通死亡事故が発生しないように、安全啓発・安全講話等を通して、事故抑止のために

努力したいと思えます。

死亡交通事故は、被害に遭われた方やその家族だけではなく、加害者やその家族までもが不幸と絶望に陥ってしまうもので、これは自分の身に降りかからないと、なかなか実感できるものではありません。

土幌町の皆様には、決してこのような事が無いよう強く願うとともに、事故抑止に努めていきたいと決意しています。

以上、私の抱負等を述べさせていただきますましたが、土幌町が安全・安心な町になるよう精一杯努めて参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

土幌町民の皆様、本年4月1日付で土幌駐在所に着任いたしました高野です。よろしくお願ひ申し上げます。

新任地に着任するにあたりまして、皆様へのご挨拶とともに、私の今後の抱負について述べさせていただきますと思います。

まず、私の経歴についてであります。私は昭和37年に新得町で生まれ、父が営林署に勤務していた事情により、小学生時代を足寄町、中学生時代を大樹町、高校生時代を帯広市と、十勝の雄大な自然と暖かい人々

に囲まれて育ちました。ですから、この十勝を愛し、この十勝に微力ながらも貢献していきたいという信念は、誰にも負けないものと自負しております。警察官を拝命してからは、主に交通畑を歩み、誰よりも交通事故の悲惨さを体験して参りました。私の在職年数も残り数年となり、ここ土幌町に着任させていただいたことを天命と信じて、土幌町が安全・安心な町として町民の皆様が誇れるように、精一杯頑張っていきたいと思えます。

■土幌町議会

08011200

北海道河東郡土幌町字土幌225番地

電話01564(5)5218

■広報特別委員会

委員長 大西米明
副委員長 河口和吉
委員 出村 寛 飯島 勝 細井文次